

超高層の再開発に多額の税金 計画の見直しを

茗荷谷駅前、後楽西に61億円
春日3丁目地区、後楽全域でも



春日町3丁目地区再開発の予定地(小石川1丁目) シビックセンターより高い155mビルも(建設工業新聞等による)

4棟 総延べ床面積19万㎡の建築物を計画	A-1	100m、26階のオフィス棟
	A-2	20階程度の商業、ホテル、住宅棟
	B	30mの商業、住宅棟
	C	155m、40階程度の商業、住宅棟
想定事業費	751億円	清水建設、大成建設が事業協力者

区議会第二回定例会が六月四日から二十二日の会期で開かれました。寿会館の廃止など新行革推進と多額の税金を投入する超高層の大型再開発に熱心な区の姿勢が改めて浮き彫りになりました。区民の営業やくらしが大変なとき、区民を応援する施策の実施こそが求められています。



全日本年金者組合文京支部のみなさんと懇談(7.26)

要求懇談会開く 数十団体と直接訪問も

日本共産党区議団は、七月から障害者団体、建設業協会など数十団体と懇談会を行っています。「高齢者の住宅問題は深刻、区が手を差し伸べなければどうにもならない」「仕事は減り続けるだけ、何とかしてほしい」など、それぞれの団体の現状や仕事確保、営業、介護、障害者福祉など数多くの要望が出されています。区議団は、さらに直接訪問して、幅広い団体と懇談する計画をたてています。



六月二十八日に開かれた文京区都市計画審議会では、後楽地区計画の高度をこれまでの七十mから百五十五mに変更する提案がされました。住宅とオフィスを含む百五十五メートルの超高層ビルを建設する「後楽二丁目西地区再開発事業」について、「なぜ超高層でなければならぬのか根拠がはっきりしない」「超高層になった根拠の資料が示されないまま、この場で採択を求められても困る」など、学識経験者から反対の意見

都市計画審議会でも反対意見が
いま、六一億円の巨額の税金を投じる、茗荷谷駅前・後楽二丁目西地区の「再開発事業」に、多くの疑問の声が出されています。

「再開発事業」は本格的に見直すべきです。文京区は、残る後楽二丁目全域と、春日町三丁目地区(写真説明参照)で、さらに大規模な再開発を進めようとしています。

代表質問をしました
代表質問をする
高畑ひさ子議員
代表質問をする
高畑ひさ子議員

- 介護保険の負担軽減策を
- 実施ある子育て支援計画策定を
- 大塚再開発事業の見直しを
- 区内循環バスの具体化を
- (全文は区議団ホームページに)
- 男女中等普通科本系列の制定を
- 区民主役の「区民憲章」に
- 中学校選択制は本格的見直しを
- 少人数学級の実現いそいで
- 教育基本法の改革はゆるさない

第二回定例会
代表質問をしました
代表質問をする
高畑ひさ子議員

区民憲章=時間をかけて論議を

区長は、年内にも文京の「区民憲章」制定を考えています。しかし、「憲章」に対する区民の関心は極めて低い。うに、「ガバナンス」など中心理念の難解さ、主権在民など憲法との整合性、公的責任の放棄、区民犠牲の行革への心配が強く指摘されています。こうした問題を未解決のまま「憲章」制定を急いではいけません。

中学校選択制の見直しを

学校選択制を導入して二年。七中の入学生がゼロになり、茗荷谷では急増して普通教室を増やす事態に。「中学校では特定校に入学者が集中することはない」と導入を強行した区の責任は重大です。七中や少人数の三中への支援を強めるとともに、区民の議論のもと廃止を含め本格的に見直し、小学校には導入すべきではありません。

寿会館なくさないで!

「寿会館と入浴サービスの存続を求める請願」が新婦人文京支部より出されましたが、新生・公明・自民の反対で不採択でした。利用者減が廃止の理由だが、二十年も前、高齢者への利用案内送付を廃止した区の責任は重大です。寿会館は高齢者の生きがいと交流の場、銭湯で代替することはできません。寿会館の有効利用をこそ考えるべきです。

交通安全のため歩車分離信号を

歩行者が車にはねられ死亡する事故が、茗荷谷交差点、富坂下交差点で相次ぎました。区議団は小竹前都議とともに、車と歩行者の交通量が多い春日町、富坂下、本郷三丁目、白山上交差点を調査しました。区議会では、区が関係警察等へ申し入れと協議を行い、できるところから歩車分離信号の設置を急ぐよう求めました。



君、これをかぶりなさい……
狙われている子どもたち—— 倉田 新

今年、区立青柳保育園の4歳と5歳児室、こひなた保育園の4歳、5歳児室とホールの2園・5室に冷房が入ります。また、まだ冷房設備のない6園・13保育室にも冷房化の計画案が示されました。これは昨年の中学校、今年の小学校の全ての普通教室の冷房化に続くもので、「幼児の夏の長時間保育にエアコンを」と頑張った関係者の皆さんと党議員団の運動の成果です。

6月30日、春日町交差点に「春日自転車駐輪場」がオープンしました。312台が駐輪でき、区内の観光地を巡るなどのレンタサイクル事業も行われます。駐輪場料金は、2時間まで無料、以後10時間ごとに100円、レンタサイクルは1回500円です。さらに白山駅や千石駅などにも、駐輪場の設置が急がれます。

実現しました

春日交差点に駐輪場

小中学校につづき 保育園も 冷房化!